

所在：上田市殿城地区

取組主体： JA信州うえだ	取組開始時期： 平成24年
取組分類： 農業関係団体主導型	解消面積： 20ha(H24～H26)
導入作物： レタス	販売先：農業協同組合

1. 取組のきっかけ・経緯

JA信州うえだは、中山間地の遊休農地を整備し、規模拡大を目指す他地域の野菜農家の出作を促す取り組みを始めている。
 上田市殿城地区は、高齢化が進み遊休農地が増加している状況にあるのに対し、同市菅平地区では、規模拡大とりわけ標高差を利用した作期拡大を希望する農家がある。
 このことから、地域住民、JA、行政等が連携して、遊休農地を整備するとともに、同地区への出作を推進することとした。



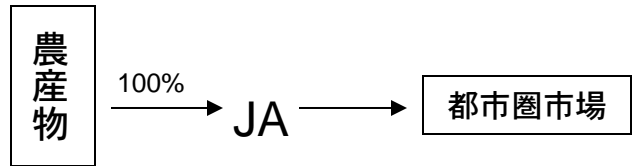
2. 取組内容(予定)

- 耕作放棄地の再整備
 県営中山間地総合整備事業を活用し、耕作放棄地を含めたほ場整備や農業用用水施設整備を行い農地としての再生を図る。(H23～H26)
- 出作農家の誘致・支援
 菅平地域の大規模野菜農家に出作を推進
 →マッチングの推進(市地域センター・JA)
 経営モデルの提示及びレタス栽培技術支援
 (上小農業改良普及センター・JA)
- その他
 農業用機械の移動経費の支援(JA)

取組主体による導入作物栽培面積	6 ha
うち耕作放棄地の再生面積	5 ha

3. 販売計画

- 全量、JAを通じて市場出荷
 (H24実績：3ha1万7千ケース)



4. 将来構想(今後の展開方針)

- レタス長期出荷体制の確立(長野県食と農業農村振興計画 上小戦略3)
 - ・耕作放棄地の再整備 → 担い手出作誘致
 - ・灌水施設、集出荷施設の整備
 - ・野菜大規模農業者の経営安定
- 人・農地プランへの位置づけ
- 鳥獣被害対策の実施
- その他推進品目の提案(ブロッコリー、トウキ等)